

# 心に残る文化財子ども塾 活動の概要と様子 ～ 松江市立来待小学校 ～

## 1. 概要

6月25日(木)、松江市立来待小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。まずはじめに、来待小学校周辺や宍道町の遺跡について、県埋蔵文化財調査センターの職員から話を聞きました。その後は、体験活動として「勾玉作り」を希望されていたので、松江市内の遺跡から出土した本物の勾玉を観察し、触れてみて、古代の人々の技術の高さや、豊富な材質の種類などについて理解を深めました。

次に、いよいよ「勾玉作り」に取りかかりました。まず素材に型どりをして、石製ブロックを使って削る作業から行いましたが、予想以上に丸く形を整えるのは難しく、それぞれ工夫を凝らしながら作業に当たりました。最後にやすりで削り、洗ってみるとつるつるとした手触りになり、喜びと達成感が生まれました。

勾玉を磨く作業は、短時間ではなかなかきれいに仕上げるのが難しいことを知り、当時勾玉がいかに精巧に作られ、重要な物であったかを体感しました。

## 2. 様子

### 1) 来待小・宍道町周辺の遺跡について知る。「縄文～古墳時代」・「勾玉」について学ぶ

勾玉の秘密クイズ！



「勾玉はどんな目的で使われたのだろう？」

本物の勾玉に触れてみよう！



「石とは思えないくらいつるつるしている！」

### 2) 古代体験活動 ～ 勾玉作り ～



「磨けば磨くほどつるつるになるらしい！」



「勾玉のくびれのところが意外と難しい～」

### 3. 子ども塾を終えて

#### 1) 児童の皆さんから…

- ・来待にたくさん遺跡があったことに驚いた。また、どんな人々がいたのかもっと知りたいと思った。
- ・島根に勾玉作りの遺跡がたくさんあり、数多く作っていたことを知れた。
- ・もっと勾玉について知りたいと思った。
- ・勾玉はどうしてあの形なのか、儀式ではどのように使われたのかなど、疑問を持った。
- ・勾玉をレンガブロックで削ったり、磨くのがとても大変だったことが心に残った。
- ・別の素材でもやってみたい。ほかにも、土器・鏡づくりなども体験してみたい。
- ・むかしの他の手作りの道具にはどんなものがあるのか興味をもった。

#### 2) 担任の先生から…

- ・地域に古墳などがあることを知れた。
- ・勾玉の本物にふれることができてよかった。
- ・知識を得たうえで、勾玉作り体験ができたのでよかった。
- ・後日、引き続き磨き作業を行い、子どもたちが嬉しそうに仕上げている。

#### 3) 埋文センターから

学校の社会の授業で既に飛鳥時代まで勉強していたことから、縄文時代～古墳時代について皆さんよく知っていて、興味を持って聞いてくれました。また、来待小周辺には古墳をはじめ遺跡が多数分布しているので、地元の文化財・歴史にも関心が高い様子でした。

勾玉作り体験では、はじめは当時と同じ素材・道具・方法で行い、形の特徴と、綺麗に仕上げることの難しさについて身をもって実感した様子でした。体験活動を通じて古代人の生活の一端に触れ、当時の人々の熟練した技術や作り手の思いを一層強く感じることができました。